

□議員名：中島好人

1 市営住宅の空き家対策について

論点	空き家が多い市営住宅では、高齢者が多数を占めており、掃除や役員のなり手がいないなどが問題となっている、実態はどうなっているのか。
回答	3月31日現在23団地1,425戸のうち601戸が空き家となっているが、建て替え、用途廃止など政策的戸数が566戸あり、そのうち空き家が341戸となっている。実際には、859戸のうち、空き家は260戸となっている。

論点	「空き家」が解消されれば、家賃収入は、いくら増収になるのか。
回答	1戸当たりの年間使用料は平均18万となっており、260戸を乗じると4,700万円となる。

論点	本市は、「大学がある街」としての特徴がある。国土交通省の「公営住宅の地域対応活用」を作成し学生が入居出来るようにしてはどうか。
回答	制度の仕組みや活用方法、改修に必要な費用、大学生のニーズ、近隣住宅の状況など調査・研究をして行きたい。

2、生活保護について

論点	「生活保護のしおり」の改善について、厚生労働省は、通達で、「扶養義務の照会が期待できると判断される者にのみ行う」としている法の動きと合わせて記載してはどうか。
回答	扶養照会を行わない場合の例示の「しおり」への記載については、今後の改定の際に検討したい。

論点	生活保護利用者は、65歳以上の男性が143人、女性は202人となっています。数の上からでも、女性特有の相談からしても女性のケースワーカーを増員してはどうか。
回答	現在1人を配置しているが、今後女性ワーカーのニーズや必要性が高くなれば、増員について検討して行く。

3, 「共同親権」への対応について

論点	夫からのDVや虐待から逃れて来て、市役所の窓口で「夫が来ても住所を知らせないで欲しい」などの要望に応じて来たが、今後はどのような対応するのか。
回答	施行については、あと2年あるので国の方で検討されるが、DVなどの相談等については、従来どおり適切に対応して行きます。